２０１５年６月６日
ネパール事業報告

特定非営利活動法人
サイト・バイ・サイト　インターナショナル
共同プロジェクト　代表　ブバン・アディカリ
佐々木　浩二

はじめに

- 国連NGO日本チャリティ基金支援機構、並びに、NPO法人　地球と共に生きる会、また、ネパールの現地代表（株アジアンダイニングバーGLOBAL SAPANA GROUP CO.LTD.）の社長ブガン・アディカリ様Bhuban Adhikariの依頼を受けて行きました。

はじめに

- 長期的視野をもって、これからの**ネパールの復興支援**と同時に、現地の**ネパール事務所**、**ローカル NGO を設立する**のが今回の主な目的で、ネパール政府の**承認**を頂きました。

今回の報告内容

- １．基本情報
- ２．今回の活動内容
- ３．今後の活動について

基本情報

■ネパールについて

- ネパール連邦民主共和国は、南アジアに位置する国です。
- ２０１４年の資料によると、**一人当たりGDPは６９８ドル**で、世界の１８７国の中で１７２位です。
- 日本の一人当たりGDP（３６３００ドル）の**５２分の一**しかない貧しい国で、世界から見ても**かなりの貧困国**です。

基本情報

■２０１５年のネパール大地震について

- ２０１５年の４月から５月にかけて、ネパールは大きな地震がありました。

  １回目　Ｍ７．８　or　8.1Ms　15.0 km(9.3mi)

- 地震は、４月２５日に首都カトマンズ北西７７ｋｍ付近に起こりました。
- これか日本の感覚と言うと、東京から離れた埼玉の高崎、熊谷あたりに起きた地震です。

基本情報

■２０１５年のネパール大地震について

- そして**２回目**　５月１２日**Ｍ７．３地震**に首都カトマンズ東２００ｋｍ付近のヒラヤマ山脈のふもとに起こりました．
- **３回目**　5月２６日　**Ｍ６．９地震**　**北１５０ｋｍ**
- 日本の感覚と言うと、震源地は福島が、静岡市ぐらいの距離ですので、例えば**車で２時間で行けるところ**に地震が起きて、非常に怖いです。
- この２つの大きな地震以外にも、**小さな余震がたくさんありました。**

基本情報

■ 地震の被害状況

- 国連によると、ネパールの人口の**約30%にあたる約800万人**が被災したと発表。その他、経済損失は**５０億ドル**。死者8,460人・負傷者2万人以上。
- およそ**76万棟の住宅**が被害を受けました。８７万人の子供は授業が受けなくなる。

巨大なニュータウンすべてが一晩で廃墟

今回の活動内容

■ 日時　２０１５年5月２６～２０１５年6月４日

- 状況把握（Ａビデオでご説明します）

今回の活動内容

- 寄贈式のために２日前に、**被災地の村長さん、代表者達　２０人**が集まり、彼らの現実的状況を把握するため　村人達の声を直接聞き取り、調査しました。
- 彼らと**ミーティングしました**。
- 何が優先で支援が必要か、何をしてもらいたいのかを聞きました。そしてその解決方法についてみんなで話し合いました。

今回の活動内容

- １．プレハブの住まいを作る

（TV 局の動画ご説明します）

今回の活動内容

- ２．青空教室を始める

小さな子供は生まれて初めての経験であり、**地震へのパニック障害を起こしている子供**たちも多く、被災した家族の生活は十分に食事も取れず、**心のケアー**を考えて村人達の要望で、できるだけ早く学校を始めたいとの要望がありました。

今回の活動内容

- ３． **450 人の子供たち**の給食を与える（半年間約束しました。）

今回の活動内容

- ４．ブルドーザーを寄贈する　（　いたる所で瓦礫撤去ができず、**道路が遮断**されたこともあり、　救助と供給源である**道を守る**こと、また、被災地の復興を妨げているために寄贈を決めました。

今回の活動内容

- ５．　２８６世帯に、**波トタン**を一世帯５枚ずつ寄贈す　る（　計１４３０枚　）

今回の活動内容

- ６．子供たちにＴシャツ　４００枚　配布
- 　　ノート　コンピューター　４台　村人達からの推薦学生４名に選定し寄贈　これから勉強と集会所コミニティーセンター、防災センター、村の保健センター、いわば診療所におけるサービスに使われる。

The Offspring
Offspring
weezer

使用した寄付金の内訳

- 日本からの寄付金

- １．寄贈式典の為の準備、並びに調整費
（輸送燃料費、車両３台、トラック費、人件費等）
- ２．ジープ車　（中古車両）購入
- ３．その他の　事務所設立費用

使用した寄付金の内訳

- ４．飛行機のチケット代金　　3名
- ５．現地での購入
  ２８６世帯に、波トタンを一世帯５枚ずつ寄贈する（　計１４３０枚　）
- 合計　　国連NGO日本チャリティ基金支援機構、並びに、NPO法人　地球と共に生きる会から　　491000円を含みます。
- 経費に関しては　　株アジアンダイニングバーGLOBAL SAPANA GROUP CO.LTD.）の社長ブガン・アディカリ様の個人の寄付金で賄われました。

今後の活動について

- 学校は、ソーラーパネルを入れる事により、地域の中心でき役割となり、集会所コミニティーセンター、防災センター、村の保健センター、いわば診療所におけるサービスの向上や健康意識向上のための村人への教育活動などを行いながら、地域ぐるみで取り組んでいきます。

おわりに

- 私達はネパール人と共に明るい未来を作っていきます。よろしくお願いします。

質疑応答